

■ 平成 24 年度決算報告

町では、町民の皆様に町財政の状況を知っていただくために、財政状況を公表しております。今回は、平成 24 年度の町の歳入(収入)と歳出(支出)の決算についてお知らせします。

○一般会計決算の概要

平成 24 年度当初予算編成時の町財政は、地方税収入や地方交付税の原資となる国税収入が緩やかに回復することが見込まれる一方で、高齢化の進展や子育て支援策等により医療福祉関係経費が引き続き増加し、財政構造は依然として硬直化の状態が見込まれる状況でありました。

そのような中で編成された平成 24 年度の一般会計の当初予算は、本町のまちづくりのテーマである「活力と創意が生きる希望に満ちたまち・みぶ」の実現に向けて、知恵と工夫を凝らし、魅力に富んだ予算となるよう努めたところです。

平成24年度の当初予算規模は、11,320,000千円で前年度当初予算額12,170,000千円に対し、850,000千円(前年度対比△7.0%)の減でした。

また、その後発生した行政需要及び国・県支出金の増減などに対応した補正予算第1号から第4号により、943,853千円を増額補正し、平成23年度からの繰越明許費495,800千円及び事故繰越費38,420千円を加えた最終予算現額は、12,798,073千円となりました。

その結果、平成24年度の一般会計決算額は、歳入総額12,514,715千円、歳出総額12,052,920千円となり、前年度に比較して歳入が338,255千円(△2.6%)の減額、歳出が340,565千円(△2.7%)の減額となりました。

○町有財産

町の所有に属するあらゆる財産のことで、土地や建物・有価証券などの公有財産、特定の目的のために積立や運用を行う基金、金銭の給付を目的とする町の権利である債権、町が使用するために保管している備品や消耗品などがあります。主な財産は次のとおりです。

基金
51億5,876万5千円

町が条例に基づき設置するもので、ある目的のために財産を維持し、資金を積立てるための基金と、定額の資金を運用するための基金の2種類に大別されます。

財政調整基金 12億8,895万1千円

年度間の財源のバランスをとることを目的とした積立金で、ある年度に税金の収入が大きく減少したり、災害の発生により突発的な支出が生じる場合などに備えて、決算剰余金が生じた年度などに積み立てておく基金です。

減債基金 5億1,551万4千円

町の借金である地方債の返済に充てることを目的とし、地方自治法に基づいて設置されている基金です。この基金により、収入の減少があっても計画的に地方債の返済を行うことができます。

庁舎建設基金 13億813万4千円

ある目的のために資金を積立てる基金の一つで、庁舎の建設資金に充てるために設置されています。

土地
1,433,492.14㎡

主なものとしては、総合公園、聖地公園、各小中学校の敷地、総合運動場などがあります。

建物
132,207.06㎡

主なものとしては、役場庁舎、清掃センター、おもちゃ博物館、町営住宅、各小中学校の校舎、中央公民館などがあります。

出資による権利
5,247万8千円

公有財産の一つで、公益法人や株式会社・有限会社等の出資又は出えんに伴う町の権利のことで、財団法人等に対する出えん金も含まれています。

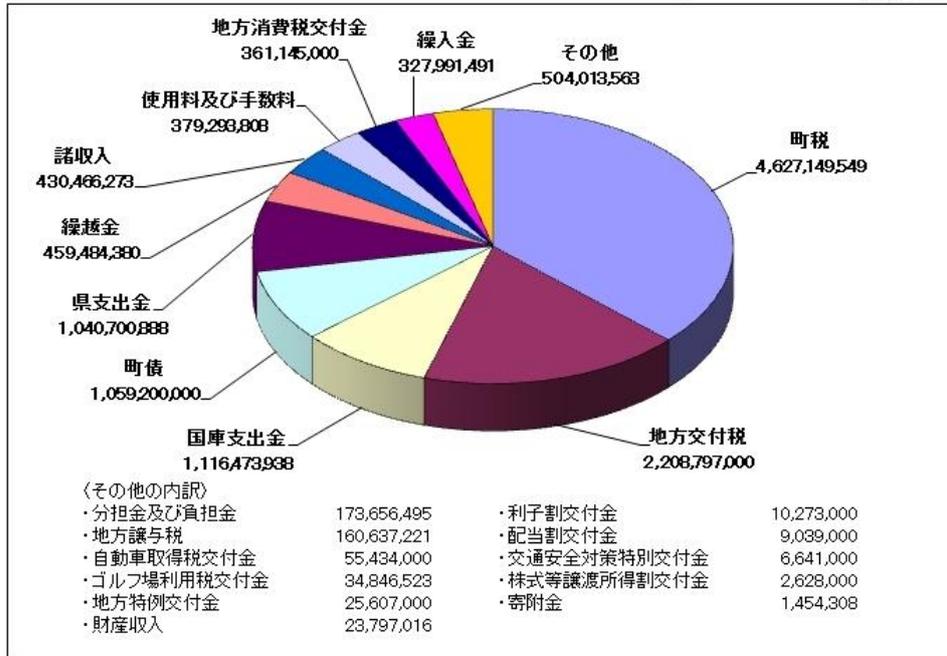
並木杉
1本

特別天然記念物である日光杉並木街道を保護するため、平成10年度よりオーナーになっています。

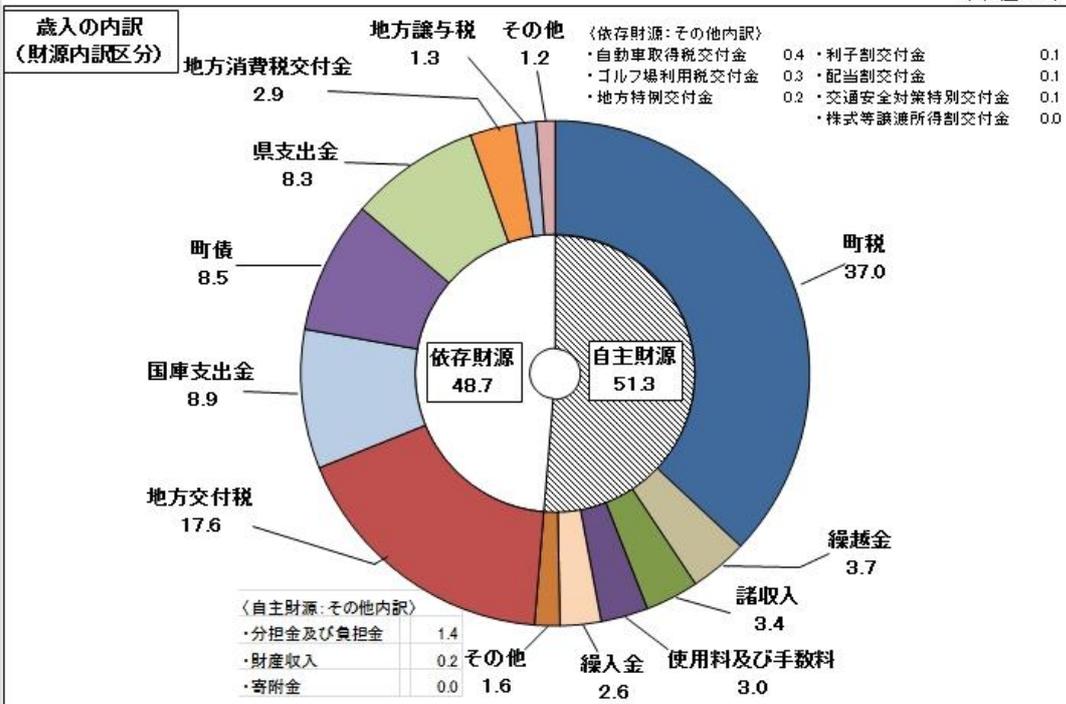
■ 平成 24 年度決算報告 歳入・歳出の内訳

歳入の内訳 合計125億1,471万5千円

(単位:円)

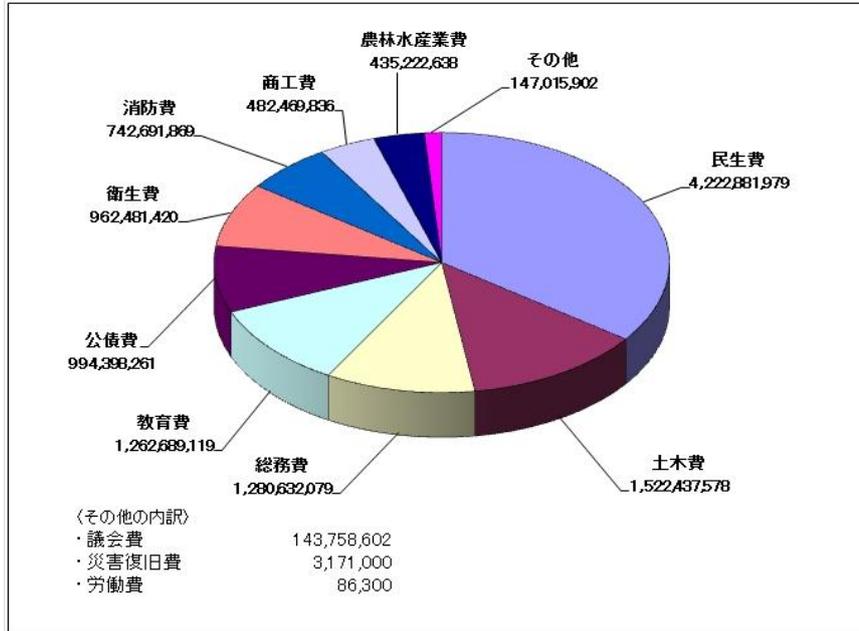


(単位:%)

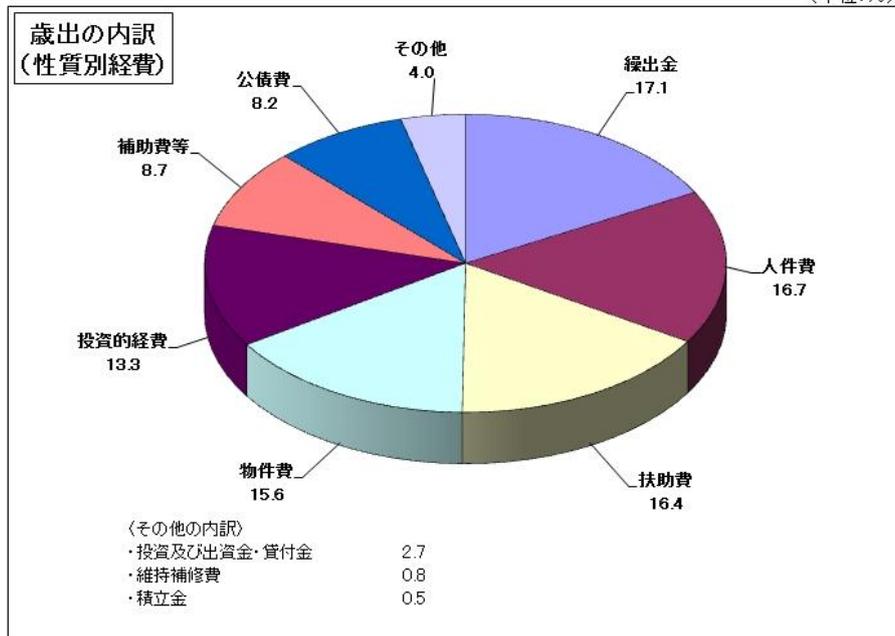


歳出の内訳 合計120億5,292万円

(単位:円)



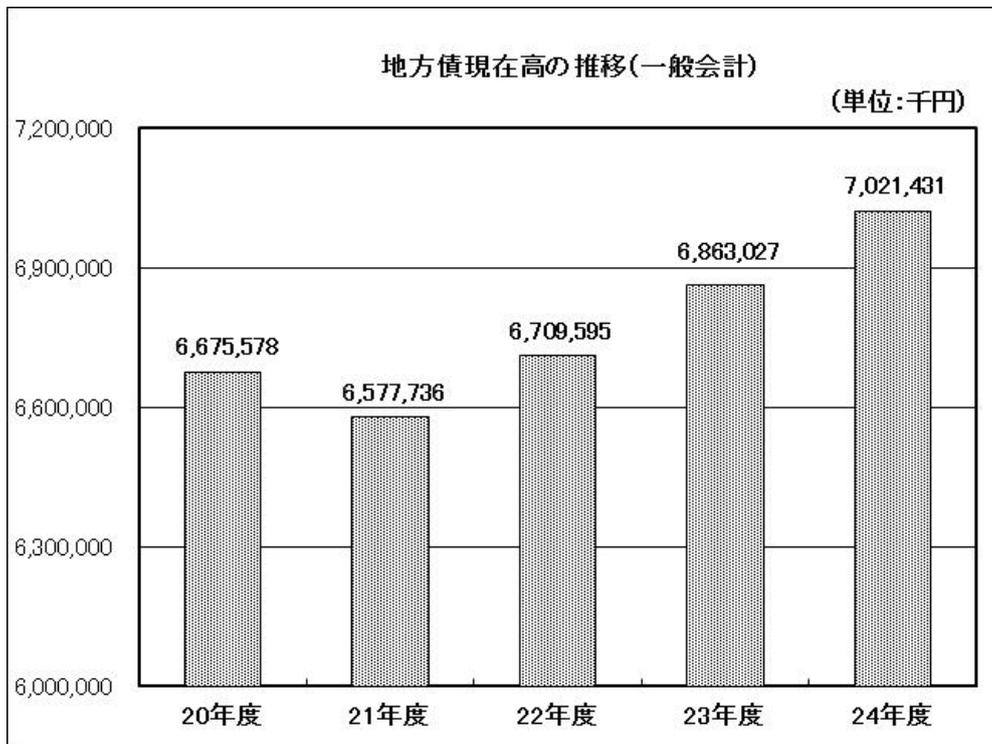
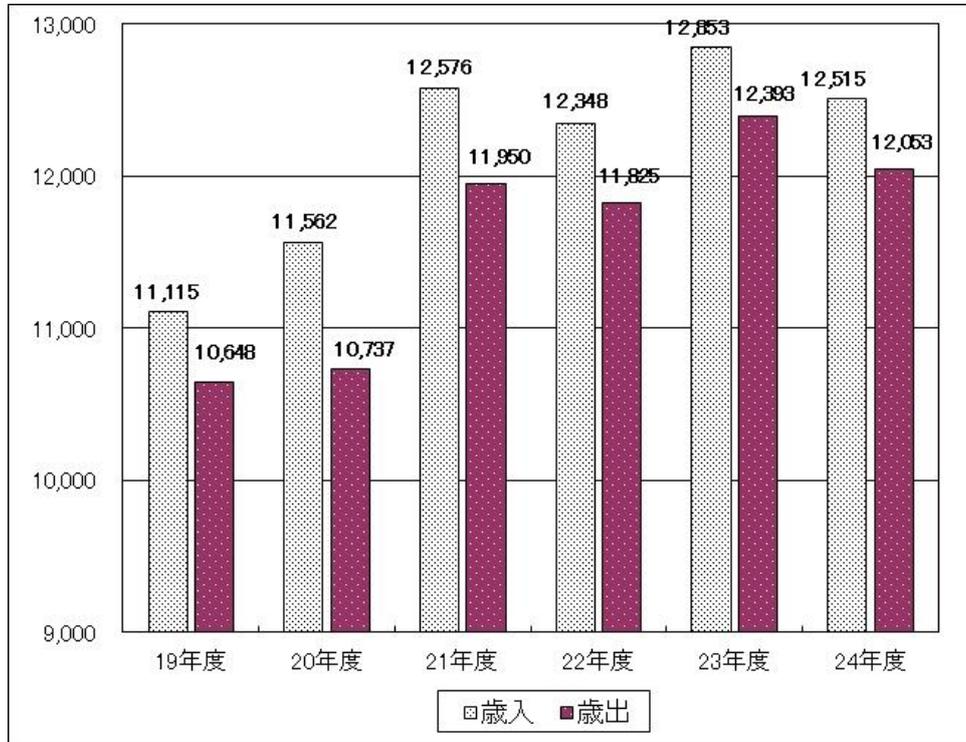
(単位:%)



■ 平成 24 年度 一般会計決算額の推移等グラフ

◆ 一般会計決算額の推移 ◆

単位：百万円



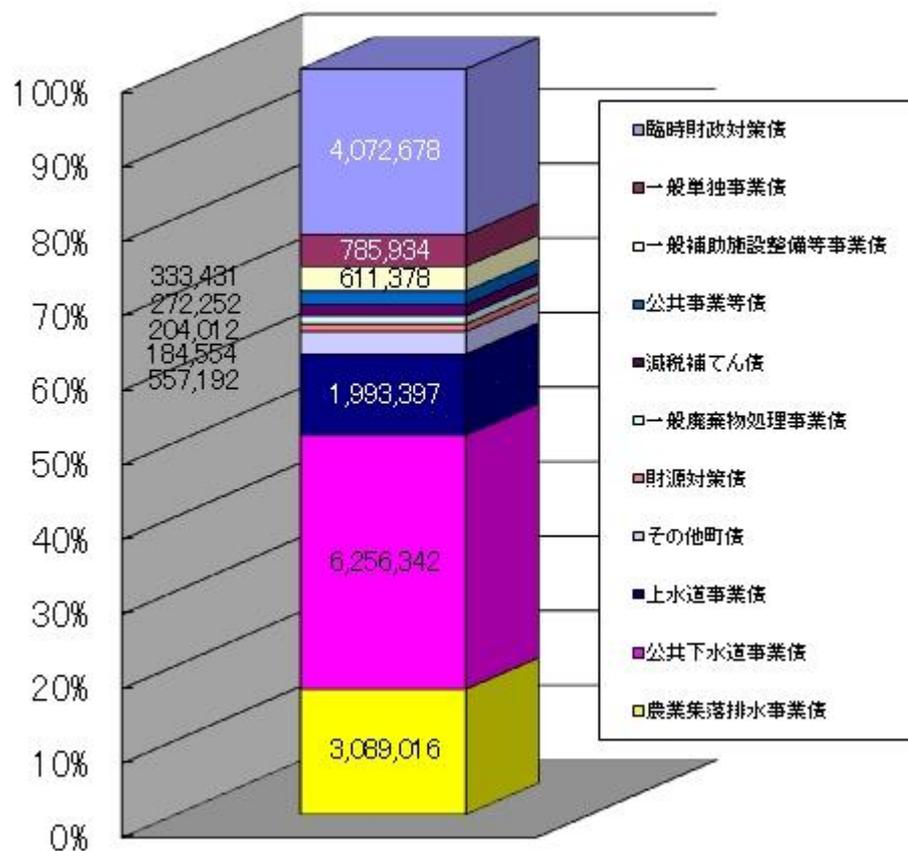
■ 平成 24 年度 主な財政分析指標と地方債現在高

地方債現在高(平成 24 年度末現在)

単位:千円

町債の名称	会計	現在高	割合
臨時財政対策債	一般会計	4,072,678	22.2%
一般単独事業債	一般会計	785,934	4.3%
一般補助施設整備等事業債	一般会計	611,378	3.3%
公共事業等債	一般会計	333,431	1.8%
減税補てん債	一般会計	272,252	1.5%
一般廃棄物処理事業債	一般会計	204,012	1.1%
財源対策債	一般会計	184,554	1.0%
その他町債	一般会計	557,192	3.0%
上水道事業債	水道事業会計	1,993,397	10.9%
公共下水道事業債	公共下水道事業特別会計	6,256,342	34.1%
農業集落排水事業債	農業集落排水事業特別会計	3,089,016	16.8%
一般会計分 合計		7,021,431	
総計		18,360,186	

地方債現在高(平成24年度末現在) (単位：千円)



-
- **合計 183 億 6,018 万 6 千円**

平成24年度健全化判断比率等の状況

平成19年6月、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が制定され、全ての地方公共団体において平成19年度決算から財政指標（健全化判断比率及び資金不足比率）の公表が義務付けられました。さらに、平成20年度決算から早期健全化基準及び財政再生基準、経営健全化基準を超える団体は財政健全化計画等の策定が義務付けられ、早急に財政の改善に取り組むこととなりました。

ここでは、平成24年度決算に基づく町の健全化判断比率等の状況をご報告いたします。

健全化判断比率

項目	数値	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	13.81	20.00
連結実質赤字比率	—	18.81	30.00
実質公債費比率	4.7	25.0	35.0
将来負担比率	—	350.0	

「-」は赤字を生じていない等のため、数値は該当無しを表しています。

資金不足比率

公営企業(特別会計)	数値	経営健全化基準
水道事業会計	—	20.0
公共下水道事業特別会計	—	20.0
農業集落排水事業特別会計	—	20.0

「-」は資金不足を生じていないため、数値は該当なしを表しています。

用語の説明

実質赤字比率

一般会計等(普通会計)の実質赤字の標準財政規模に対する比率

連結実質赤字比率

全会計の実質赤字の標準財政規模に対する比率

実質公債費比率

一般会計等(普通会計)が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率

将来負担比率

地方債の残高をはじめ一般会計等(普通会計)が将来負担すべき実質的負債の標準財政規模に対する比率

資金不足比率

公営企業会計の資金不足額の事業規模に対する比率

早期健全化基準(経営健全化基準)

数値がこの基準以上になると財政健全化計画(経営健全化計画)の策定が義務づけられ財政の改善に取り組むこととなります

財政再生基準

数値がこの基準以上になると財政再生計画の策定が義務づけられ確実な財政の再生に取り組むこととなります

■ 平成 24 年度 特別会計、水道事業会計の決算状況

会計名	歳入	歳出	差引
国民健康保険特別会計	50億5375万6千円	47億1598万7千円	3億3776万9千円
公共下水道事業特別会計	16億1707万8千円	16億1231万3千円	476万5千円
奨学資金特別会計	168万3千円	135万5千円	32万8千円
介護保険事業特別会計	23億6713万2千円	23億2736万3千円	3976万9千円
農業集落排水事業特別会計	7億5587万6千円	7億4662万2千円	925万4千円
後期高齢者医療特別会計	3億2959万5千円	3億2463万2千円	496万3千円

○水道事業会計

収益的収入	収益的支出	特別損失	純利益
5億8531万6千円	4億4889万1千円	99万2千円	1億2721万5千円
資本的収入	資本的支出	※収支不足額	
2億1858万5千円	4億8428万1千円	2億6569万6千円	

- 資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、減債積立金の取り崩し額及び損益勘定留保資金等で補てんしました。

■ 平成 24 年度 主な事業実績

摘要	金額
●議会費	
議会だより発行事業 年 4 回	949 千円
議会運営費	5,667 千円
●総務費	
施設振興公社管理事業	81,546 千円
新公共交通システム整備事業	11,497 千円
デマンドタクシー"みぶまる"試験運行開始	
行政外部評価委員会運営事業	56 千円
情報化推進事業	88,764 千円
いきいきふれあい応援事業	7,709 千円
●民生費	
後期高齢者医療費	279,924 千円
国民健康保険特別会計繰出金	505,808 千円
後期高齢者医療特別会計繰出金	85,420 千円
老人保健福祉施設整備事業	225,400 千円
介護保険事業特別会計繰出金	364,335 千円
障害者自立支援給付事業	478,685 千円
民間保育園委託事業	441,880 千円
保育対策促進事業等補助事業	80,934 千円
放課後児童健全育成事業	26,230 千円

子どものための手当扶助事業	661,725 千円
こんにちは赤ちゃん祝金事業	2,630 千円
こども医療費助成事業	104,510 千円
保護者の自己負担分を助成し、保険診療分が全額無料	
●衛生費	
母子予防接種事業	83,488 千円
ヒブ、肺炎球菌、三種混合、麻しん・風しん混合	
4種混合、幼児インフルエンザ、BCG、日本脳炎	
二種混合、子宮頸がん、不活化ポリオ	
保健福祉施設改修等工事	17,367 千円
1階トイレ改修工事、駐車場整備工事	
清掃センター維持管理事業	120,049 千円
ごみ収集及び運搬業務委託事業	93,678 千円
●農林水産業費	
農業構造改革対策事業	14,005 千円
干瓢生産振興推進事業	5,500 千円
とちぎ・かんぴょう伝来300年記念大会開催	
農業集落排水事業特別会計繰出金	250,482 千円
●商工費	
ブランド推進事業	515 千円
みぶブランド推進協議会	
中小企業融資制度事業	321,605 千円
産業振興奨励事業	9,140 千円

みぶ羽生田産業団地企業誘致推進事業	489 千円
おもちゃ博物館維持管理事業	47,906 千円
●土木費	
町道修繕事業	90,374 千円
六美地区雨水排水対策事業	152,074 千円
町単独道路整備事業	118,276 千円
都市計画総務事務費	4,605 千円
まちづくり検討調査業務委託等	
公共下水道事業特別会計繰出金	551,283 千円
花のまちづくり推進事業	1,940 千円
●消防費	
石橋地区消防組合負担金	466,392 千円
防災行政無線整備事業	155,539 千円
●教育費	
学力向上支援事業	70,837 千円
小学校施設改修等工事	135,402 千円
睦小学校教室棟耐震補強工事、壬生小学校屋内プール改修等工事等	
スクールランチサポート事業	16,767 千円
学校給食費を月額 500 円助成	
家庭教育推進事業	866 千円
学校地域支援ボランティア推進事業	820 千円
みぶ・ホリデーアクションプラン事業	549 千円

ゆうがおマラソン開催事業	6,593 千円
総合型地域スポーツクラブ事業	2,000 千円
栃木県郡市町対抗駅伝競走大会出場事業	746 千円